

# 九州がんセンター薬剤部 2-5年目薬剤師教育プログラム 概要

どの時期 に どのようなレベルに達していたらよいかの **目安**

## 業務スケジュール

<業務スケジュール>  
各学習項目の業務スケジュールは以下を目安とする。

|     |   |
|-----|---|
| 2年目 | セントラル業務(調剤・入退院支援チーム)<br>病棟業務(4-9月:チーム1、10-3月:チーム3)<br>チーム医療(4-7月:NST、8-11月:緩和、12-3月:ICT/AST)<br>研究活動(10月~研究サポートチームに学習者として配属)<br>治験・臨床試験薬の調剤調製払出(学習者として) |
| 3年目 | セントラル業務(注射・持参薬チーム)<br>病棟業務(本人の希望のチーム)<br>チーム医療(本人の希望のチーム)<br>研究活動(7月:九州地区薬学研究会発表、10月:総合医学会発表)<br>治験・臨床試験薬の調剤調製払出(学習者として)                                |
| 4年目 | セントラル業務(無菌調製、製剤、プレメディチェックチーム)<br>病棟業務(本人の希望のチーム:支援者として)<br>チーム医療(本人の希望のチーム:支援者として)<br>研究活動(研究サポートチーム:支援者)<br>治験・臨床試験薬の調剤調製払出(学習者として)                    |
| 5年目 | セントラル業務(本人の希望のチーム:支援者として)<br>病棟業務(本人の希望のチーム:支援者として)<br>チーム医療(本人の希望のチーム:支援者として)<br>研究活動(研究サポートチーム:支援者)<br>治験・臨床試験薬の調剤調製払出(学習者として)                        |

具体的な業務のチェックポイント  
参考となる資料

がん以外の領域についてもカバー

## 薬剤師教育プログラム (2-5年目)

| 教育項目   | 行動目標  | 座学 | シャドーイング | OJT | 使用教材   |
|--|---|----|---------|-----|--|
| (1)業務管理<br>セントラル業務が安全で適正に遂行できるよう管理できる。構成メンバーが変わっても業務量と質を担保できる。 | 2-3年目<br>①根拠に基づき実践する<br>②先輩と共に学習する<br>③チーム内での自己の役割を理解し、行動できる<br>4-5年目<br>①先輩の学習を支援する<br>②業務改善の提案ができる<br>③マニュアル改訂の提案ができる<br>④患者アウトカムの向上に寄与できる<br>⑤①~④の事例について要約できる。 |    |         |     | 学習者は、自ら実施した項目に○をつける。   |
| <調剤(2-3年目)>  | 法令に基づいた処方箋の記載事項を確認できる   |    |         |     | 医師法施行規則第21条・科医師法施行規則第20条・薬剤師法施行規則・薬発第94号   |
| <調剤(2-3年目)>  | 法令に基づいた医薬品保管管理ができる<br>(規制医薬品(麻薬、覚せい剤原料、向精神薬(第1種、第2種)、毒薬・劇薬))  |    |         |     | 麻薬及び向精神薬取締法、薬事法等   |
| <調剤(2-3年目)>  | 貯法(温度・湿度・光)を考慮して医薬品保管管理ができる   |    |         |     |  |
| <調剤(2-3年目)>  | 調剤過誤防止の対策を提案できる<br>(注意喚起のための表示、配置場所の区別、取り間違い防止の工夫等)<br>(ヒヤリハットの集計・分析ができる)   |    |         |     | 調剤過誤防止マニュアル  |
| <調剤(2-3年目)>  | 医療事故防止及び事後の対処について調剤過誤防止マニュアルに記載されている内容が理解ができる   |    |         |     | 調剤過誤防止マニュアル  |
| <調剤(2-3年目)>  | 医療機器の保守点検ができる(動作確認ができる。不具合発生時対応の流れが理解できる)   |    |         |     | 各取扱説明書   |
| <調剤(2-3年目)>  | 医療機器整備申請の流れが理解できる   |    |         |     |  |
| <調剤(2-3年目)>  | 調剤内規の改訂すべき箇所を指摘できる  |    |         |     |  |
| <調剤(2-3年目)>  | 処方監査ができる(年齢、体重、腎機能などの患者背景をふまえた用法用量や重複投与、相互作用を確認できる。必要に応じて病名・合併症などを電子カルテで確認し用法用量が適正か判断できる。粉砕、簡易懸濁、一包化、混合可否についてデータをもとに判断できる)  |    |         |     | 腎機能別薬剤投与量POCETBOOK(じほう)<br>腎不全と薬の使い方Q&A(じほう)<br>小児薬用量ガイド(じほう)<br>内服薬経管投与ハンドブック(じほう)<br>錠剤・カプセル剤粉砕ハンドブック(じほう)<br>軟膏・クリーム配合変化ハンドブック(じほう) |
|  | 処方内容に疑義がある場合には必ず疑義照会を行い適切に対応できる   |    |         |     |  |

## 新卒3年目 Bさん

### ●病棟業務

1年目は**婦人科**病棟、2年目以降は**肝胆膵・泌尿器・整形病棟**を担当しています。

### ●学会発表

2年目より担当している泌尿器科の新薬「**パドセブ**」の使用実績と副作用マネジメントについての研究を行いました。今年度は**日本医療薬学会**や**日本臨床腫瘍薬学会**、研修会等に参加し、発表することができました。

### ●チーム医療

2年目より**緩和ケアチーム**の配属となりました。毎週行っている**カンファレンス**に交代で参加しています。昨年の10月には薬局薬剤師向けの研修会でオンラインで「**医療用麻薬の使い方について**」の発表を行いました。



様々な疾患の患者さんに接していくなかで、**もっと知識を得て、患者さんに還元したい!**と思うようになりました。

2年目からは幅広い疾患の病棟で、最初は疾患を理解することや、レジメンの種類の多さに苦戦しましたが、**先輩方にアドバイス**をいただいたり、**薬剤部の本棚にあるたくさんの書籍**から情報を得たりしながら学んでいます!

これから更に知識と経験を積んで、

**外来がん治療認定薬剤師**の資格を取得を目指していきたいと思っています。

がんセンターは学べる環境が整っている病院です。

一緒に働いてこれからの**薬剤師ライフ**を**エンジョイ**しましょう! ✨



# 新卒5年目 Cさん

**血液内科・小児科** 病棟担当 (2年目)  
(消化器外科・肝胆膵外科 → 消化管腫瘍内科  
→ 呼吸器外科 → 血液内科・小児科)

**感染制御チーム/抗菌薬適正使用支援チーム (ICT/AST)**

## 日常業務

調剤・抗がん剤調製・病棟業務に加えて…

外部 (MRや他部署) とのやりとり  
新人薬剤師の教育や調剤システムの管理 など担当

### 医薬品情報 (DI) 担当

MRさんとの情報交換  
部内・院内への情報共有

### 新人薬剤師教育プログラム担当 (副)

### 症例・業務報告会 (勉強会) 開催担当者

薬剤師の知識向上・情報共有

### 処方監査システム (IRIS) 管理担当

### 院内製剤請求システム管理担当

### 院内常備薬管理担当

など

## 研究 (学会発表)

【2年目】 **日本医療薬学会年会**

化学療法による末梢神経障害について

【4年目】 **日本化学療法学会西日本支部会**

抗菌薬が抗がん剤の効果に与える影響について

### 日本医療マネジメント学会

化学療法による末梢神経障害について

## 資格

【3年目】

**日病薬病院薬学認定薬剤師** 取得

【5年目】

九州がんセンターはがん治療に関する知識を学びやすい  
せっかくだから資格を取りたい!!

**外来がん治療認定薬剤師** 取得

【来年以降】

感染制御・抗菌薬の適正使用に関して興味があるので

### Infection Control Doctor: ICD

**抗菌化学療法認定薬剤師** 受験予定

資格取得のための経験 (年数+症例集め) +勉強中

## 学生さんへ

日常業務・研究・資格取得と病院薬剤師として  
充実した毎日を九州がんセンターでおくりませんか